



年に1度の出張

10月6日～7日、「全国都市問題会議」に出席するため高松市を訪れた。

市議会議員時代には、常任委員会や会派の先進市視察、また調査費を使つての視察が年何回もあったが、市長になってからは年1回のこの会議に参加することが唯一、恒例の出張の機会となっている。

今年は前日、大和市に自治功勞のあったかの叙勲祝賀会や商工会議所のゴルフコンペ表彰式があったため、当日の朝5時に起きて新幹線などを乗り継ぎ、向かった。

丸1日の会議(といっても大学教授や各地の市長の報告や講演をただひたすら聴く会だが...)と第2日目の午前中というスケジュールだが、二日目の午後は視察ができる。

観光地視察

日ごろ、わたしは「大和には有名なお城も大きな神社仏閣もないが、自治意識の高い市民がいる」と言っているが、うらやましいことに高松市には高松城や栗林公園があり、近くの琴平町には有名な讃岐の金毘羅様などがある。最近はまだ、讃岐うどんでも全国から多くの人を集めている。

そしてわたしがぜひ訪れたかったのは、国指定重要文化財の「旧金毘羅大芝居こと金丸座」であった。ここは現存する日本最古の芝居小屋で、想像以上の雰囲気のある建物だった。

江戸時代にタイムスリップ

木戸をくぐり、札場から下足場で靴を脱げば、もうそこは江戸時代へタイムスリップ。

花道に一步進んだところから、すぐになりきるわたしは、反射的に飛び六法と見得の所作をしていた。案内のかたがタイミングよく「そこがすっぽん(花道を七分ほど行ったところに切つてあるせり上がりの穴)だよ」と教えてくれた。

花道から舞台に進み、松の描かれた鏡板を背に立つと、今度は得意の「源氏店」のつらね(歌舞伎の七五調のせりふ)で歌舞伎の一場面を演じたくなったが、ほかの観光客がいたので遠慮した。

舞台から下の奈落に降り、廻り舞台やせり、すっぽん、空井戸の仕掛けに改めて感心した。

さらに平場の客席や東西の棧敷、また俗に「大向こうをうならせる」といわれる通が座る向こう正面の二階席(前・中・後船)に座り、顔見世提灯や天井のぶどう棚(竹で編んだ格子状の天井)とその上に見える木組みの梁などを鑑賞した。

文化の息づく地方都市に敬意を感じた今回の視察であった。

住宅防音工実施済み住宅の空調機器交換工事費を助成

平成7年9月30日までに実施済みの住宅が対象

住宅防音工事で設置した空調機器(エアコン、換気扇、レンジ用換気扇)が老朽化などで故障または機能が低下した場合、国では交換工事の費用を助成しています。

助成の対象

平成7年9月30日までに住宅防音工事が完了し、同工事で設置した空調機器。ただし、住宅防音工事実施後、増改築などにより防音区画が損なわれている場合は、助成の対象になりません。

助成の割合

国の基準によって算定された費用の9

割を助成(1割は自己負担)。

申し込み

所定の「住宅防音工事希望届」に必要事項を記入のうえ、郵送で〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎 横浜防衛施設局事業部施設対策第4課へ。用紙は同施設局のほか、座間防衛施設事務所(鶴間1-13-2)、防衛施設周辺整備協会神奈川支所(中央3-5)、市役所基地対策課にあります。

問い合わせは、横浜防衛施設局事業部施設対策第4課 ☎045(211)7139へ。

第4回大和市観光協会 観光写真コンテストの作品を募集

市観光協会では、市内の観光をテーマにした写真を募集します。



募集作品▶未発表作品でカラープリント四つ切りまたは六つ切り

(デジタルカメラの写真も可)。ただし、ワイドや組み写真、白黒、加工や編集をした作品は不可。なお、フィルム、デジタル作品とも必ずプリントして提出してください(ホームプリントは不可)。一人何点でも応募できますが、一人1賞です。入選作品の著作権は主催者に属し、応募作品は返却しません。

応募方法▶11月25日(金)必着までに市観光協会および市役所産業振興課にある応募票と作品を、直接または郵送で〒242-0021 中央2-1-1 大和駅グリーンぽけっと 市内観光協会へ。市内の協力写真店へ直接持参も可。

人物を主題とした作品は、本人(被写体)の承諾を得て応募してください。

入賞者には賞金が贈られ、入賞作品は来年1月下旬に市役所で展示します。

問い合わせは、市観光協会 ☎(260)5799

Eメール▶info@yamato-kankou.comへ。